

都中P通信

No. 24



発行 平成24年9月 東京都公立中学校PTA協議会 会長 水上 幸夫



第60回日本PTA全国研究大会 京都大会

8/24(金)25(土)に行われた、日P全国研究大会に
都中Pより4名が中親会の皆さんと一緒に参加しましたので
報告致します。

「いのち ころろ ゆめ～伝えよう つなげよう 育もう～」を
大会スローガンに、1日目は京都府内10分科会に分かれ、
2日目は国立京都国際会館に集合しての全体会という日程で
開催されました。あらためて家庭の強い絆と地域の連帯感が
求められるこの時に、保護者として大人として、そしてPTAとして
あるべき姿や活動について、全国から8000名を超える会員が集まり、
熱く語り合いました。今回の大会はPTAの目標とする、子どもたちの
健やかな育ちの環境をつくり、次代を担う子どもたちが夢と希望を
抱くことのできる社会をつくるため、全国のPTAがひとつとなる
大会でした。

あいさつする日P会長 武田岳彦氏



<8/25(土) 全体会 記念講演>

京都北山の麓、国立京都国際会館にて、揃いの紫のTシャツの京都の会員の方々に迎えられての開催です。武田日本PTA全国協議会会長のあいさつに続き、平野文部科学大臣が、祝辞の中で文科省としてもいじめを絶対許さないこと、積極的に対策を進めると力を込めて話されました。また来賓の中に、昨年まで東京都校長会長として都中Pにご協力いただいた三町章先生が全日本中学校長会長として来られているのを見つけ、嬉しく頼もしく思いました。引き続き、加藤登紀子さんが「スマイル・レポリューション」というタイトルで歌を交えながら講演されました。ご自身のお孫さんの話に始まり、被災地で会った子ども達の話し、そしてそこから生まれた歌・・・説得力のある声と歌に心が揺さぶられた時間でした。「スマイル」は生きていくための原動力かもしれません。

会の最後は会場全員で(水上会長は日Pの赤いTシャツで!)大合唱し、被災地の一日も早い復興を願いました。子ども達のために保護者として何ができるんだろう、と全国の仲間と一緒に考えることができ、全国各地でPTAは皆がんばっているとつながりを感じた2日間でした。来年は三重で開催されます。ご一緒にいかがですか？

<8/24(金)分科会 京都府内10分科会(6会場)の内容>

第1分科会

研究課題「絆～見直そう親子の絆 親同士の絆～」
基調講演者 尾木 直樹氏 教育評論家 法政大学教授
会場:宇治市文化センター

第2分科会

研究課題「おうち私のぼんそうこう」
基調講演者 増岡 弘氏 声優、俳優(サザエさんのマスオさん役)
会場:長岡京記念文化会館

第3分科会

研究課題「学校教育の充実と発展に向けて～学校運営協議会の役割～」
基調講演者 金子 郁容氏 慶応義塾大学 大学院教授
会場:京都市勧業館みやこめっせ

第4分科会

研究課題「姿の見えない伝達の闇～人として教育をみつめる～」
基調講演者 水野 雄仁氏 元読売巨人軍投手 野球解説者
会場:ガリレオかめおか コンベンションホール

第5分科会

研究課題「一人ひとりの子どもが光輝く地域を目指して～今こそ校種・地域をこえてみんなでつながろう～」
基調講演者 茂山 七五三氏 大蔵流狂言師
会場:京都市勧業館みやこめっせ

第6分科会

研究課題「子どもたちの未来のために～家庭と地域と社会で共に育もう～」
基調講演者 金澤 泰子氏 書家
会場:京都市勧業館みやこめっせ

第7分科会

研究課題「京都議定書の地、京都市における環境に対する豊かな感性と育成と実践～地域ぐるみの環境教育を進めるために～」
基調講演者 辻井 ミカ氏 華道家
会場:京都市勧業館みやこめっせ

第8分科会

研究課題「食はいのちなり～実際に汁(だし)のうま味を感じる～」
基調講演者 鶴飼 治二氏 京料理老舗「近又」主人
会場:文化パルク城陽プラムホール

特別第1分科会

研究課題「スポーツと教育のり超える～人生の課題について、前向きに取り組むことをスポーツを通し学ぶ～」
基調講演者 大林 素子氏 元女子バレー全日本代表 スポーツキャスター
会場:京都市勧業館みやこめっせ

特別第2分科会

研究課題「東日本大震災 3.11 から見えた学びの場を核とした地域の絆づくり」
基調講演者 松原 耕二氏 TBSキャスター
会場:舞鶴市総合文化会館

* 第1分科会 「絆 ～見直そう親子の絆 親同士の絆～」

8月14日記録的な豪雨が襲った宇治市が会場で、被災された方も多くいらっしゃいましたが、無事開催されました。午前中はPTA組織・運営についてのパネルディスカッションでした。特に印象に残ったのは、PTAの役員決めから活動に至るまで、大人の私達が逃げたりなすりつけ合ったりせず、一生懸命取り組むことが、子ども達の学校生活や人としての生き方に反映するのではないか？という部分でした。午後は尾木ママこと尾木直樹氏の講演で、親子の絆、親同士の絆が大切で、特に母親の笑顔が重要と話されました。テレビで見る通りの軽妙な語り口に会場も笑いが絶えませんでした。

会長 水上

* 第3分科会 「学校教育の充実と発展に向けて～学校運営協議会(コミュニティスクール)の役割～」

京都市は、門川市長がコミュニティスクールを先進的に推進し、現在では幼稚園から特別支援学校まで含め186校園に設置されています。明治の学制発布前に町衆がお金を出し合って64もの小学校を作った土地柄もあり、「地域で支える」が根付いていますから、期待して参加しました。はじめに金子慶應大学教授の、コミュニティスクールが地域の人間関係を作りレベルアップさせる、という講演があり、その後実践発表がありました。ある京都市内の小学校では、子どもを真ん中において「学校運営協議会」「PTA」「おやじの会」が連携しあうことによって、人材の充実をはかり、PTAの負担を減らしているそうです。ここでは、なんと先生全員が学校運営協議会の委員会のいずれかに所属しているそうです！300名以上の参加者が聞き入っていました。

監事 金山

* 第2分科会 「絆 ～見直そう親子の絆 親同士の絆～」

テーマは「家庭教育」、場所は長岡京市に参加してきました。基調講演はTV「サザエさん」でのマスオさんの声の増岡弘さん。ひと昔前の典型的な日本家庭のサザエさん一家のお話、増岡さん自身が講演活動のなかで経験した、子どもたちとのかかわり、など涙がほろりのお話もありました。そのあとは、地元のPTA活動の実践報告とパネルディスカッション。午後は参加型研修で「京ことば」について学びました。昼食付の1日がかりの研修ですが、全国から集まった参加者、主催者の熱意がむんむんで飽きるひまない1日でした。全国のPTAはすごい。

会計理事 鍵和田

<東京都中学校長会と都中Pとの教育連絡会>

◇子どもたちの健やかな成長、中学校教育の充実の

ために校長会との教育連絡会を開催

日時:9月4日(火)18:00～21:00

場所:都庁第一本庁舎 32F

事務局の交代にともなう事務体制の変更や8月末に

日本PTA全国研究大会があったこともあり、例年7

月に開催していた「東京都中学校長会と都中Pとの

教育連絡会」が、今年は9月に開催され、堀米校長会会長を

はじめ役員の先生方と都中P役員、合計23名が参加いたしました。

子どもたちの健やかな成長、中学校教育の充実のために、情報交換、意見交換が行われました。学校の敷地内の芝生化など、都が推進している施策についての両者の率直な意見、エアコン設置や学校施設などの教育環境の改善がまだまだ不十分なこと、中2ギャップ、中3ギャップなどの中学校のクラス編成により生じる問題を改善するにはどうするか、といった具体的な例がいくつも挙げられました。その中で、共通に抱える問題として、先生方や保護者が、子どもと触れ合う時間をいかに増やしていくかが挙げられ、触れ合いこそ最大の教育であると意見が一致し、同じ目的をもつ両者がいっそう密接な関係をもっていくことになりました。また、都庁32階から東京都を見渡しながら、「子どもたちの未来のために頑張るぞ！」と決意を新たにできた教育連絡会となりました。

総務理事 尾形



セイフティプラン24 【中途加入できます】

都中Pが厚生事業として運用している会員向け団体保険。個人会員で加入。犯罪被害にも対応しており、東京都の「犯罪被害者等支援を進める会議」においても、他保険ではあまりない被害事故補償(交通事故含む)を打ち出した保険として高い評価を得ている。加入、問い合わせは都中Pまで。E-mail: jpta@tokyo-jpta.org